

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190400317		
法人名	日総ふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	ふれあいの里 グループホームとみおか		
所在地	札幌市手稲区富丘2条4丁目11-15		
自己評価作成日	平成26年11月17日	評価結果市町村受理日	平成27年4月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0190400317-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0190400317-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成26年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住宅街の奥まった位置にあり、近隣の子供たちの笑い声が響くなか利用者様も穏やかに過ごされています。  
JRやバスなど交通機関にも恵まれた場所に位置しております。  
ホーム内は利用者様が毎日いきいきと楽しく暮らせるよう支援しております。職員間でチームケアの大切さを理解ながら利用者様ひとり一人がそのひとらしく暮らしていけるよう日々のケアにあたっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ふれあいの里 グループホームとみおか」は、JR稲積公園駅やバス停からも近い静かな住宅地に立地している。近隣には公園もあり、利用者と近隣住民や子供たちとの交流の場になっている。管理者は、法人の目的別研修などを活かしながら日々の業務の中で指導を行い、各職員の育成に積極的に取り組んでいる。毎月のカンファレンスでは、利用者全員の様子について情報交換を行いながら、一人ひとりの思いや意向の把握に努めて適切なケアができるように取り組んでいる。管理者が町内会の総会に参加して、利用者の様子や地域密着型サービス事業所としての役割を話すことで地域住民の理解も深まり、介護保険や認知症についての相談などが寄せられている。また、町内会や事業所行事での交流、近隣住民による草刈りの手伝いや災害時における協力体制の確立など、地域に根差した事業所として運営が行われている。管理者が役所に出向く機会も多く、情報交換をしながら連携を深めている。運営推進会議は、ソーシャルワーカーの講話や感染症、在宅給食サービスなど、テーマを工夫しながら充実した会議を目指している。管理者と職員は、一人ひとりの利用者の残存能力に配慮しながら、笑顔で過ごせるような温かな支援に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(1Fせせらぎアウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1Fせせらぎ)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様とその人らしくあたりまえの暮らしができるよう常に意識しながら、日々のサービスに活用しながら実践できるよう心掛けている。	基本理念3項目の一つに「地域社会の中で人と人とのふれあいを大切にする」という、地域密着型サービスを意識した文言が含まれている。事業所の要所に掲示し、カンファレンスの中で確認しながら全職員で実践できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間を通して、町内会の行事に参加しながらも周辺住民の方々とは、ゴミ拾いやホーム周辺の草刈りなどを通じて町内会との連携に努めている	管理者が町内会の総会に参加し、事業所への理解を深めてもらうことで、地域住民から介護保険や認知症についての相談が寄せられている。利用者は、幼稚園や保育園の運動会に出かけたり、散歩の機会に公園などで子供たちと交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常生活の中で地域との交流を深め、町内会での定期総会の中で認知症への理解についてお話をさせていただく機会をいただいたり、地域の方々が気軽に相談できる環境作りを努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではホームでの取り組み、活動報告などを報告し、その都度ご意見やアイデアを頂きながら運営に反映されるよう努力している。	テーマを入れた会議案内を全家族に送付し、数人の家族の参加を得て、ソーシャルワーカーの講話や感染症対策などをテーマに2か月毎に開催している。今後は、年間を通してのテーマ設定と更なる議事録の充実に取り組む意向である。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市、区の管理者会議へ出席し関係者との交流、などを行っている。また、社協との連携を保ちながら入居者様の情報共有を行い協力関係を築くよう努めている。	管理者は、書類の提出や介護認定更新の手続きなどで役所を訪問した機会に、事業所の現状を報告しながら情報交換をしている。役所の担当者が代わった時は、訪問時に挨拶をして日頃から協力関係が築けるように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のないケアについて、全体会議の際に内部研修を行いながら理解し、日常業務の中で実践できるよう努力している。	「禁止の対象となる具体的な行為」を含むマニュアルを作成し、外部研修後に報告研修を行っている。事務所に禁止行為11項目を掲示し、事例に沿ってその都度検討しながら拘束のないケアに取り組んでいる。禁止行為の内容は、職員により理解度にばらつきも見られる。	「禁止の対象となる具体的な行為」11項目について年1回は勉強会を行い、全職員で更に理解を深めるように期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホームの理念に基づきながら職員一人一人が高齢者虐待の意味を確認、理解しながら日々防止に努めている。		

ふれあいの里 グループホーム とみおか

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1Fせせらぎ)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部の研修を通じて学ぶ機会があるが、実際に活用している利用者がいないため必要性がある場合に備えて関係機関と協力ができるよう心掛けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学や、入居時の際にも利用者様、ご家族様とよく話し合いながら、不安や疑問点など納得のいくよう説明をするよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱の設置に加えて、日常より利用者様、ご家族様、関係者様からの意見、要望等に耳を傾け運営に反映させている。	家族の来訪時に話しやすい環境をつくり、率直な意見や要望を聴き取れるように工夫している。今後は、法人統一の「苦情・相談受付票」と「ご意見用紙」を利用して家族の意見を個別に記録し、更にケアや運営に活かして行く意向である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が意見を出しやすい環境作りに努めると共に、あがってきた意見、提案を検討し、解決に向け納得のいく形で反映できるよう心掛けています。	ユニットリーダーが、事前に各職員の意見や提案を聴き取り、提案者を特定できないように工夫をして議題に取り上げて検討している。管理者は、日頃から各職員と話をしたり、事業所外でも個別に親睦を深めて意見や要望を聴き取っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力、取組みに対してそれぞれ評価していきながら、各自が向上心を保てるような環境づくりに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人で取り組まれている階級別の研修会を実施、スキルアップにつながる取組み、同じ法人内での役職者への昇格など一人ひとりが自己向上できるよう取り組んでおります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全市や同区内の研修会、会議への積極的な参加や、法人内で実施されている研修会を通じて、他事業所との交流を深めながらサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1Fせせらぎ)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学時や入居前よりご本人の思い、要望などに耳を傾け、利用者様の尊厳を大切にしながら安心して過ごしていただけるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始前の段階で面談をする機会を設けて、ご家族様の不安や要望など傾聴しながら、ご本人にとって安心して生活できるよう共に支援できるような関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時には、ご本人、ご家族様の思い、状態を把握しながら、互いに確認しあい、ご本人にとって必要な支援を見極め、その人に合ったサービス提供できるよう心掛けております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の考え、思いを尊重しながら、目上の方々に対する敬う気持ちを忘れずに、常にご本人のペースにあわせながら出来ない部分を支える気持ちを持って支援出来るよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様には、生活の様子や気づきなど、来訪時や電話などで互いに話しやすい関係づくりを心掛けながら、共に支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族様、関係者様からの支援のご協力を頂きながら関係が途切れないよう、共に支援し合える関係作りに努めております。	入居前に住んでいた近所の方が訪ねてきたり、友人や親戚と、手紙のやり取りや電話で交流する利用者もいる。職員と一緒に、馴染みの美容室や好きな洋服の買い物、選挙などに出かけている。家族と法事などに出かける事もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員間で利用者同士の関係を把握しながら、孤立することのないよう必要に応じて介入していき、良好な関係が築けるよう心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1Fせせらぎ)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、来訪されたり、相談を受けるなど変わらず関係性を保ちながらフォローしていく体制を整えています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々ご本人のペースに合わせた支援を行えるよう心掛けながら、関わる中でご本人の表情、言葉、行動など観察しながらご本人が納得できるような支援をするよう努めております。	意思疎通が難しい利用者の思いや意向は、介護者視点にならないようにその都度全職員で検討している。「ひもときシート」などを活用して、情報の蓄積やケアの見直しを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴やすごされた環境などの情報収集を行い、その方らしく過ごされるよう心掛けております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状のADLの把握、ご本人が今できること、できないことを見極めを、常に職員間で共有しながら支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護記録やカンファレンス時、ご家族から出た意見を、収集しながら現状に促した介護計画を作成し、職員間で共有、実践につなげている。	家族の意向を事前に聴き取り、計画作成担当者を中心に全職員で検討して、3か月毎に介護計画を見直している。今後は、更に介護計画を意識した日々の記録に取り組み、利用者担当職員を中心に介護計画を作成して行く意向である。	介護計画と連動した日々の記録の更なる充実と、各担当者中心の介護計画作成への取り組みに期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録の重要性を、職員間で確認しあい、ケアの振り返りを繰り返しながら、見直すことで実践に活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人、ご家族様の状況を把握しながら、それぞれ何を訴えたいのか、何を求めているのかを把握しホームとして可能なこと対応できないことを理解を頂きながら支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の方々がホーム周辺の草刈り、環境整備にご協力いただいている。町内会内の庭に大きい花壇の家主より、散歩時に声掛け頂き花壇内の探索など触れ合う機会を頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に添いかかりつけ医を選択されるケースもあります。状態に応じて専門医の受診にも対応しております。	家族と一緒にかかりつけ医や専門医を受診する場合は、日頃の様子を口頭やメモ書きで伝えたり、バイタルチェック表を持参してもらうこともある。受診記録は個別に記録して情報を共有し、適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1Fせせらぎ)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制の協力の中、健康管理、心身の状態について報告しております。特変時には相談の窓口となり24時間体制で主治医との連絡調整も行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には本人への支援方法などの情報を医療機関に提供しながら、情報の交換を行っている。ご家族様、医師、相談員との連携を図り早期退院に向け話し合う機会を設けております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に書面にて重度化した場合についての説明を行い、ご本人、ご家族様が納得した上で合意していただいている。重度化した場合にも協力医療機関と連携をしていながら今後の方針を考えていく。	「入居者が重度化した場合の対応に係る指針」を作成して、利用開始時に説明している。入院が長期化する場合や経口摂取ができなくなった時、医師の判断の下に家族の意向を確認し、施設情報などを提供しながら方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当の初期対応の消防署の職員より受け、実践にを身につけるよう努力しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練の実施、運営推進会議内でも議題として取り上げ協力体制を整えている。各ユニットごとに防災チェック表をつけ災害時に備える体制を整えている。	年間2回、自主訓練と消防署の協力の下に、昼夜を想定した火災避難訓練を実施している。近隣住民に、直接災害時の協力を依頼している。法人としてウォーターインゼリーを準備すると共に、リストを作成して災害備蓄品の整備に取り組んでいる。	各職員が、定期的に救急救命訓練を受講できるような取り組みに期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損ねないケアを目指し、排泄や入浴の際にも、さりげない声掛けや気配りをしながらひとり一人の人格を尊重しながら対応するよう心掛けています。	管理者は、法人主催の接遇研修に参加し、利用者の人格の尊重とプライバシーを損ねないケアを徹底するように職員に周知している。申し送り時は、個人が特定できないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の関わりから、ご本人の思いを引き出せるような関係を作りながら自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり一人の生活のペースや体調、思いに添いながら支援できるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	さりげなく声掛けしながら、ご自身で整容が出来るよう支援しております。お化粧品がお好きな方は、手伝いをしながらおしゃれを楽しんでいただけます。		

ふれあいの里 グループホーム とみおか

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1Fせせらぎ)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人が力を発揮できる場を提供しながら、各々の役割をもってもらい、共に楽しく食事や片付けができるよう工夫している。	誕生日には本人の希望を聞いたり、出張握り寿司、家族と共に食べる流しソーメンなど、食事を楽しむ企画を取り入れている。一緒に下拵えをしたり、得意な利用者に魚をさばいてもらうこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の作成した献立に添ったメニューを提供しており、ひとり一人の状態に合わせて、形態を変えるなど工夫しながら提供しております。1日の最低摂取した頂く水分量も管理しながら行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週に1回訪問歯科があり、口腔内の状態や、口腔ケアの指導もいただきながら口腔内に清潔保持に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握しながら、排泄表を利用し、声掛け、誘導のお手伝いしております。排泄もなるべく自立できるよう支援しております。	各利用者の排泄を記録して、一人ひとりの排泄パターンに合わせ、トイレでの排泄を基本に支援している。自尊心に配慮しながら、排泄の自立が促される様な声かけや介助を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の水分摂取と照らし合わせながら、個々の排泄パターンにあわせて誘導、介助を行っている。医師との相談により、下剤の調整を行う方もおられます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回の入浴を心掛け、状況の変化に応じてその都度対応している。ゆっくり入浴をお楽しみいただけるよう時間の配慮も行っております。	午後の時間帯を中心に、週2回入浴できる体制を整えている。本人の希望に応じて、入浴回数を増やすこともある。入浴を拒否する場合は、時間を変更したり、家族の名前を出させてもらいながら誘いかけてスムーズに入浴できるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や生活のリズムに合わせてながら対応しています。夜間帯安心してお休みいただけるよう日中帯の過ごし方にも配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員がひとり一人の服薬情報を共有しており、用法、用量についても数人で確認作業を行いながら、服薬支援を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった役割を提供しながら、張り合いや喜びをもちながら生活の活力になるよう支援しております。		

ふれあいの里 グループホーム とみおか

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1Fせせらぎ)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴や散歩、ホームでの行事でショッピングモールへ買い物ツアーなど企画している。ご家族様の協力や可能な限り個別に買い物も同行する支援に努めている。	畑づくりをしたり、近隣の公園に散歩に出かけて子供たちと交流している。冬期間も玄関先で雪遊びをするなど、日常的に外気に触れる機会を取り入れている。また、季節にちなんだ紅葉狩りなどの行事や個人の希望を聞いた買物ツアー、温泉に行くなど積極的に戸外に出かける支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に金銭管理はご本人が行わないが、移動販売を利用しながら、物を選びながら購入し、お楽しみ頂く支援を行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人の要望に応じて、電話のやり取りも可能な限り進んで支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースである居間は、どの部屋からも見まわすことができ、カウンターキッチンからは、生活音や食事の匂いなど利用者様が安心して過ごせる空間となっております。	壁には、日付と天候を分かりやすいように大きく掲示している。また、利用者の外出時の笑顔の写真や孫の写真の特集版などが展示してある。広い廊下で、居間にはゆったり寛げるソファを配置するなど、居心地よく過ごせる空間になっている。職員休憩室からタバコの臭いが漂ってくるため、臭気対策を検討中である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆったりとした居間に大きめのソファを置き、入居者が集う空間となっております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様、ご家族様と相談しながら馴染みの物を持参していただいたり、居室内の環境整備をおこなったり、ご本人様が安心して過ごして頂けるよう配慮しております。	各居室には、広いクローゼットが備え付けになっており、利用者の好みの机や椅子などの家具、調度品が置かれている。利用者の作品などが壁に飾られており、個性豊かな居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して過ごすことのできるよう、状況に合わせて環境整備を行い、自立した生活が臨めるよう努めております。		



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190400317		
法人名	日総ふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	ふれあいの里 グループホームとみおか		
所在地	札幌市手稲区富丘2条4丁目11-15		
自己評価作成日	平成26年11月17日	評価結果市町村受理日	平成27年4月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住宅街の奥まった位置にあり、近隣の子供たちの笑い声が響くなか利用者様も穏やかに過ごされています。  
JRやバスなど交通機関にも恵まれた場所に位置しております。  
ホーム内は利用者様が毎日いきいきと楽しく暮らせるよう支援しております。職員間でチームケアの大切さを理解ながら利用者様ひとり一人がそのひとらしく暮らしていけるよう日々のケアにあたってまいります。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0190400317-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0190400317-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成26年11月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(2Fそよかぜアウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	○			○	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2Fそよかせ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様とその人らしくあたりまえの暮らしができるよう常に意識しながら、日々のサービスに活用しながら実践できるよう心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間を通して、町内会の行事に参加しながらも周辺住民の方々とは、ゴミ拾いやホーム周辺の草刈りなどを通じて町内会との連携に努めている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常生活の中で地域との交流を深め、町内会での定期総会の中で認知症への理解についてお話をさせていただく機会をいただいたり、地域の方々が気軽に相談できる環境作りを努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではホームでの取り組み、活動報告などを報告し、その都度ご意見やアイデアを頂きながら運営に反映されるよう努力している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	札幌市、区の管理者会議へ出席し関係者との交流、などを行っている。また、社協との連携を保ちながら入居者様の情報共有を行い協力関係を築くよう努めている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のないケアについて、全体会議の際に内部研修を行いながら理解し、日常業務の中で実践できるよう努力している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホームの理念に基づきながら職員一人一人が高齢者虐待の意味を確認、理解しながら日々防止に努めている。		

ふれあいの里 グループホーム とみおか

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2Fそよかせ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部の研修を通じて学ぶ機会があるが、実際に活用している利用者がいないため必要性がある場合に備えて関係機関と協力ができるよう心掛けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学や、入居時の際にも利用者様、ご家族様とよく話し合いながら、不安や疑問点など納得のいくよう説明をするよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱の設置に加えて、日常より利用者様、ご家族様、関係者様からの意見、要望等に耳を傾け運営に反映させている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が意見を出しやすい環境作りに努めると共に、あがってきた意見、提案を検討し、解決に向け納得のいく形で反映できるよう心掛けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力、取組みに対してそれぞれ評価していきながら、各自が向上心を保てるような環境づくりに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人で取り組まれている階級別の研修会を実施、スキルアップにつながる取組み、同じ法人内での役職者への昇格など一人ひとりが自己向上できるよう取り組んでおります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全市や同区内の研修会、会議への積極的な参加や、法人内で実施されている研修会を通じて、他事業所との交流を深めながらサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2Fそよかせ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学時や入居前よりご本人の思い、要望などに耳を傾け、利用者様の尊厳を大切にしながら安心して過ごしていただけるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始前の段階で面談をする機会を設けて、ご家族様の不安や要望など傾聴しながら、ご本人にとって安心して生活できるよう共に支援できるような関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時には、ご本人、ご家族様の思い、状態を把握しながら、互いに確認しあい、ご本人にとって必要な支援を見極め、その人に合ったサービス提供できるよう心掛けております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の考え、思いを尊重しながら、目上の方々に対する敬う気持ちを忘れずに、常にご本人のペースにあわせながら出来ない部分を支える気持ちを持って支援出来るよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様には、生活の様子や気づきなど、来訪時や電話などで互いに話しやすい関係づくりを心掛けながら、共に支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族様、関係者様からの支援のご協力を頂きながら関係が途切れないよう、共に支援し合える関係作りに努めております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員間で利用者同士の関係を把握しながら、孤立することのないよう必要に応じて介入していき、良好な関係が築けるよう心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2Fそよかせ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、来訪されたり、相談を受けるなど変わらず関係性を保ちながらフォローしていく体制を整えています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々ご本人のペースに合わせた支援を行えるよう心掛けながら、関わる中でご本人の表情、言葉、行動など観察しながらご本人が納得できるような支援をするよう努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴やすごされた環境などの情報収集を行い、その方らしく過ごされるよう心掛けております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状のADLの把握、ご本人が今できること、できないことを見極めを、常に職員間で共有しながら支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護記録やカンファレンス時、ご家族から出た意見を、収集しながら現状に促した介護計画を作成し、職員間で共有、実践につなげている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録の重要性を、職員間で確認しあい、ケアの振り返りを繰り返しながら、見直すことで実践に活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人、ご家族様の状況を把握しながら、それぞれ何を訴えたいのか、何を求めているのかを把握しホームとして可能なこと対応できないことを理解を頂きながら支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の方々がホーム周辺の草刈り、環境整備にご協力いただいている。町内会内の庭に大きい花壇の家主より、散歩時に声掛け頂き花壇内の探索など触れ合う機会を頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に添いかかりつけ医を選択されるケースもあります。状態に応じて専門医の受診にも対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2Fそよかせ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制の協力の中、健康管理、心身の状態について報告しております。特変時には相談の窓口となり24時間体制で主治医との連絡調整も行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には本人への支援方法などの情報を医療機関に提供しながら、情報の交換を行っている。ご家族様、医師、相談員との連携を図り早期退院に向け話し合う機会を設けております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に書面にて重度化した場合についての説明を行い、ご本人、ご家族様が納得した上で合意していただいている。重度化した場合にも協力医療機関と連携をしていながら今後の方針を考えていく。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当の初期対応の消防署の職員より受け、実践にを身につけるよう努力しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練の実施、運営推進会議内でも議題として取り上げ協力体制を整えている。各ユニットごとに防災チェック表をつけ災害時に備える体制を整えている。		

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損ねないケアを目指し、排泄や入浴の際にも、さりげない声掛けや気配りをしながらひとり一人の人格を尊重しながら対応するよう心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の関わりから、ご本人の思いを引き出せるような関係を作りながら自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり一人の生活のペースや体調、思いに添いながら支援できるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	さりげなく声掛けしながら、ご自身で整容が出来るよう支援しております。お化粧がお好きな方は、手伝いをしながらおしゃれを楽しんでいただけます。		

ふれあいの里 グループホーム とみおか

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2Fそよかせ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人が力を発揮できる場を提供しながら、各々の役割をもってもらい、共に楽しく食事や片付けができるよう工夫している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の作成した献立に添ったメニューを提供しており、ひとり一人の状態に合わせて、形態を変えるなど工夫しながら提供しております。1日の最低摂取した頂く水分量も管理しながら行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週に1回訪問歯科があり、口腔内の状態や、口腔ケアの指導もいただきながら口腔内に清潔保持に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握しながら、排泄表を利用し、声掛け、誘導のお手伝いをしております。排泄もなるべく自立できるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の水分摂取と照らし合わせながら、個々の排泄パターンにあわせて誘導、介助を行っている。医師との相談により、下剤の調整を行う方もおられます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回の入浴を心掛け、状況の変化に応じてその都度対応している。ゆっくり入浴をお楽しみいただけるよう時間の配慮も行っております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や生活のリズムに合わせて対応しています。夜間帯安心してお休みいただけるよう日中帯の過ごし方にも配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員がひとり一人の服薬情報を共有しており、用法、用量についても数人で確認作業を行いながら、服薬支援を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった役割を提供しながら、張り合いや喜びをもちながら生活の活力になるよう支援しております。		

ふれあいの里 グループホーム とみおか

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2Fそよかせ)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴や散歩、ホームでの行事でショッピングモールへ買い物ツアーなど企画している。ご家族様の協力や可能な限り個別に買い物を同行する支援に努めている。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に金銭管理はご本人が行わないが、移動販売を利用しながら、物を選びながら購入し、お楽しみ頂く支援を行っております。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人の要望に応じて、電話のやり取りも可能な限り進んで支援しております。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースである居間は、どの部屋から見まわすことができ、カウンターキッチンからは、生活音や食事の匂いなど利用者様が安心して過ごせる空間となっております。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆったりとした居間に大きめのソファを置き、入居者様が集う空間となっております。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様、ご家族様と相談しながら馴染みの物を持参していただいたり、居室内の環境整備をおこなったり、ご本人様が安心してお過ごし頂けるよう配慮しております。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して過ごすことのできるよう、状況に合わせて環境整備を行い、自立した生活が臨めるよう努めております。			



## 目標達成計画

事業所名 ふれあいの里 グループホームとみおか

作成日：平成 27年 2月 26日

市町村受理日：平成 27年 4月 13日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束における禁止の対象となる具体的な項目について、掲示しながら周知しているも、全職員対象に研修会を行っていない。	身体拘束についての研修会を法人全体の研修以外にも事業所内にて全職員対象に実施する。	年間の事業計画の項目の中に取り入れ確実に実行できるよう努める。	1カ月
2	26	日々の記録に関して、介護計画と連動した記録になっていない部分が見られており、介護計画作成に関しても各担当中心となり作成していく取り組みを行わなければならない。	介護計画作成にあたり、御家族様の意向や、各担当の声などから皆で協力をしながら作成していくよう取り組み、それが日々の記録へ連動できる流れを作っていく。	計画作成を中心としながら、情報の共有に努め改善や取り組みなど模索しながらより良い介護計画を作成できるよう努める。	3カ月
3	35	災害時における事業所内の備蓄品の整備と救命救命訓練を全職員が受講できていない。	救命救命訓練に関しては、新入職員を中心に期間を定めて受講できるよう日程を調整する。備蓄品に関しては、法人と話し合いを行いながら対処していく。	HP等にて救命救命の研修を調べた上、日程を調整する。	6カ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。